

佐倉市国土強靱化地域計画

令和7年4月変更
佐倉市

目次

第1章 はじめに

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 本市の地域特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 佐倉市地域防災計画との比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 5 計画策定に係るプロセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第2章 計画の基本的な考え方

- 1 目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 国土強靱化を推進する上で配慮すべき事項・・・・・・・・・・ 8

第3章 リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の設定と脆弱性評価

- 1 想定するリスク（大規模自然災害等）・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 リスクシナリオの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 重点化すべきリスクシナリオの設定・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 国土強靱化に係る施策分野の設定・・・・・・・・・・・・・ 13
- 5 脆弱性評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第4章 国土強靱化に向けた対応策

- 1 対応策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 2 重要業績評価指標（K P I）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第5章 計画期間及び進捗管理

- 1 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 2 進捗管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 3 計画の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

【別添1】 脆弱性評価の結果

【別添2】 脆弱性評価結果を踏まえた対応策

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

平成23(2011)年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模自然災害等から国民の生命・財産を守る国を作るため、平成25(2013)年12月11日に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法(以下「基本法」という。)」が公布・施行されました。その前文では、南海トラフ地震や首都直下地震、火山の噴火等による大規模自然災害等の発生の指摘を行い、「今すぐにも発生し得る大規模自然災害等に備えて早急に事前防災及び減災に係る施策を進めるためには、大規模自然災害等に対する脆弱性を評価し、優先順位を定め、事前に的確な施策を実施して大規模自然災害等に強い国土及び地域を作るとともに、自らの生命及び生活を守ることができるよう地域住民の力を向上させることが必要である。」としています。国土強靱化とは、いかなる災害等が発生しようとも、人命の保護が最大限に図られ、社会の重要な機能が致命的な障害を受けず、被害を最小化し、迅速に復旧・復興する、「強さ」と「しなやかさ」を併せ持った安全・安心な地域・経済社会を構築するものです。

基本法に基づき、国においては、平成26(2014)年6月に、国土強靱化に関する国の計画等の指針として国土強靱化基本計画(以下「国強靱化計画」という。)が閣議決定され、平成30(2018)年12月、令和5(2023)年7月に変更が行われ、政府一丸となって強靱な国づくりを進めているところです。

千葉県(以下「県」という。)において、このような国の動向を踏まえ、平成29(2017)年1月に、県における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として千葉県国土強靱化地域計画(以下「県強靱化計画」という。)が策定され、令和4(2022)年3月に修正を行っています。

さて、佐倉市(以下「本市」という。)においても、東日本大震災や令和元年房総半島台風等により、大きな被害を受けたことは記憶に新しいところであり、東日本大震災では、全壊38棟、大規模半壊54棟をはじめ、多くの建物が被害を受け、道路や橋梁、下水管等の生活インフラの被害も見られました。また、令和元(2019)年9月に房総半島に上陸した台風15号(令和元年房総半島台風)では、33.9m/sの最大瞬間風速を記録し、強風による倒木が相次ぎ停電件数は24,000軒に上り、停電解消までかなりの日数を要しました。さらに10月25日には24時間雨量が248mmを記録する豪雨となり、高崎川及び鹿島川周辺での大規模浸水、土砂崩れ、道路冠水が発生し、1名の尊い命が奪われています。

このように、首都直下型地震の発生や気候変動による大型の台風・豪雨などのおそれがある中、今後いつそのような大規模自然災害等が発生しても、市が機能不全に陥らず、市民の生命及び財産を守るための指針として、令和2(2020)年9月に佐倉市国土強靱化地域計画(以下「市強靱化計画」という。)を策定しました。

さらに、地震に関しては、令和6(2024)年8月に宮崎県日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生したことを受け、気象庁から巨大地震注意が発令された南海トラフ地震や、マグニチュード7程度の地震の30年以内の発生確率が70%程度とされている首都直下型地震の発生について、国の地震調査研究推進本部により指摘されているところです。

このような状況を踏まえて、この度、市強靱化計画の計画期間が令和6（2024）年度で終了することから、引き続き市強靱化計画の取組を推進していくため、内容と期間の変更を行いました。



国土強靱化のイメージ（出典：内閣官房）

2 本市の地域特性

(1) 自然特性

ア 位置・面積

本市は、県北部、下総台地の中心部に位置し、都心から東へ約 40 km の距離にあります。また、成田国際空港から西へ約 15 km、県庁所在地の千葉市から北東へ約 20 km の距離にあり、本市北部には自然豊かな印旛沼が広がる面積は 103.69 km² の首都圏の近郊都市です。



イ 地形

市域は、印旛沼の南に広がる台地、斜面地、低地等から構成されており、鹿島川、高崎川、手繰川、小竹川等が、印旛沼に注いでいます。標高 30m 前後の下総台地は北から南へ向かうほど徐々に高くなっています。

本市の地形は、関東ローム層が堆積した台地と、台地と低地の間の斜面地、そして印旛沼に注ぐ中小河川沿いの低地と、人工改変地に大きく区分されます。

(ア) 台地・斜面地

台地・斜面地は、本市北部の印旛沼周辺や印旛沼に注ぐ鹿島川沿いの低地を除いて、本市のほぼ全域に広がっています。台地は、台地面（平坦面）と台地縁辺部の斜面、台地上の凹地（浅い谷）に分けられます。標高は、本市最南部の宮内や飯塚で40～42mと最も高く、本市北部の印旛沼付近では25～27mと北に向かって高度が減じており、これら中～高位段丘面と、この面より5～10m程度低い台地面が印旛沼周辺の小規模な段丘面にあります。

（イ）低地・人工改変地

低地は、台地を河川が浸食することによって作られた谷底平野、河川流域の氾濫平野とその周辺の後背湿地に加え、印旛沼周辺の干拓地から構成されており、鹿島川やその支流の南部川、高崎川および佐倉川、本市西部を流れる手繰川などの河川周辺に分布しています。

本市域の谷底平野は、河川が谷地を刻み込むことで形成された幅200m～500m程度の狭長な谷状地形が主体となりますが、鹿島川下流部の飯重一寺崎間（鹿島川大橋付近）では幅2kmと広くなり、周辺に形成された広大な湿地は水田として利用されています。

人工改変地には、印旛沼周辺の干拓地と、河川に浸食された谷を埋めた盛土や切土の地点があります。

なお、かつて印旛沼周辺は、“香取の海”という内海の一部（「印旛浦」とも呼称。）でしたが、鹿島川や手繰川等の上流からの土砂の流入と、海面の低下による海岸線の後退によって徐々に陸地化が進行し、また、江戸時代初頭に、江戸湾に向かって流れていた利根川の流路が銚子方向に付け替えられたことで、利根川からの土砂の堆積によって湖沼化が急速に進み、現在の印旛沼の原型が形作られたとされています。さらに、昭和44（1969）年にかけて、治水・利水・干拓を目的とする印旛沼総合開発事業が行われ、市域北東部から酒々井方向にかけて干拓地になりました。現在は、北印旛沼と西印旛沼に別れて、捷水路で結ばれています。

このような地形の成り立ちから、市内の低地の基盤には、台地を構成する地層と同じものが分布しているものの、低地部を覆う地層は泥や砂が堆積したものであるため、シルト層（砂より小さく粘土より荒い層）や砂層が分布し、さらに腐食物を含むこともあり、固結度が小さくなっています。

ウ 河川

本市の河川について、一級河川としては、県が管理している鹿島川、高崎川、手繰川、小竹川、勝田川、西印旛沼があります。

準用河川としては、本市が管理している佐倉川、南部川、上手繰川、上小竹川、井野川があります。

エ 気候

本市の気候は、平年値（気象庁において現在用いられている平年値は平成3〔1991〕～令和2〔2020〕年の30年間平均値。10年ごとに更新される。）では、年間平均気温が14.8度、年間降水量が1455.9mm、年間平均風速が2.4m/秒となっています。

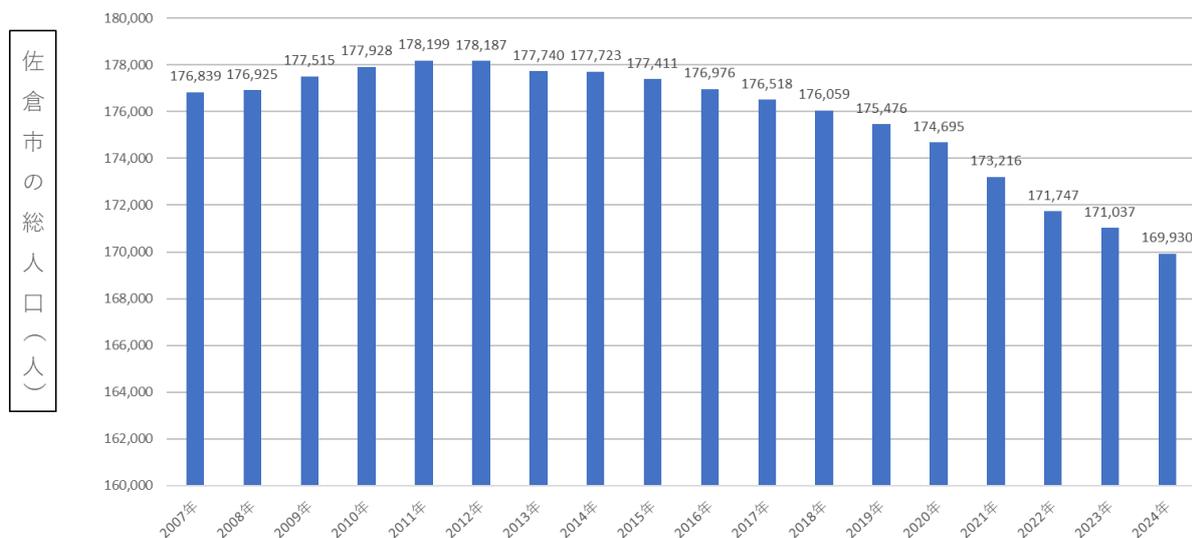
直近の令和 5（2023）年では、年間平均気温が 16.6 度（最高気温は 7 月に 37.4 度、最低気温は 1 月に -8.2 度）、年間降水量が 1330.5 mm、年間平均風速が 2.4m/秒となっています。

（２）社会・経済特性

ア 人口

（ア）総人口

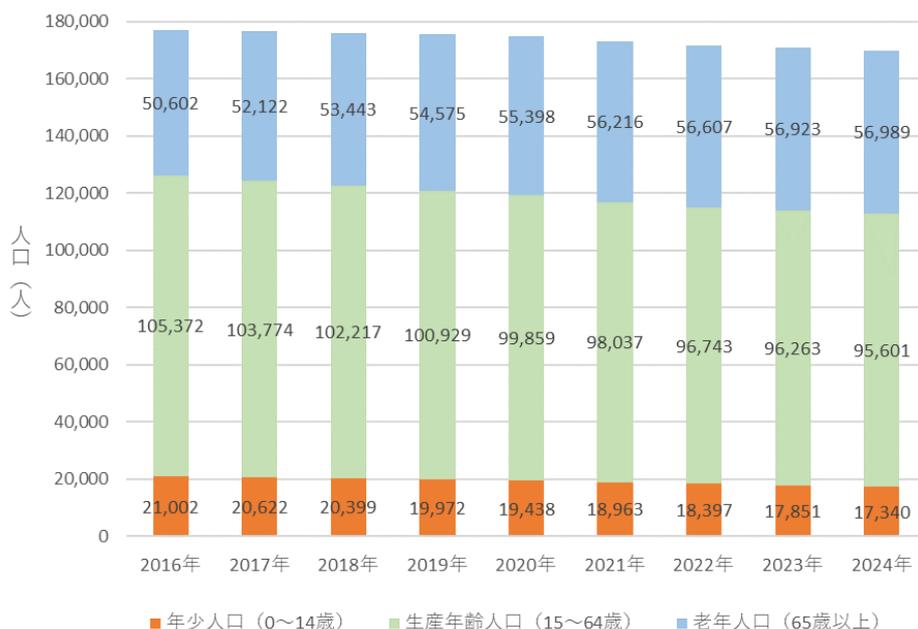
総人口は、平成 23（2011）年の約 17.8 万人をピークに、以降減少傾向が続き、令和 6（2024）年 3 月 31 日時点で約 17.0 万人となっています。



出典：住民基本台帳（各年 3 月 31 日）

（イ）年齢階層別人口

年齢 3 区分別に推移を見ると、少子高齢化の傾向が見られます。令和 6（2024）年 3 月 31 日時点の老年人口構成比（高齢化率）は約 33.5%となっています。



出典：住民基本台帳（各年 3 月 31 日）

(ウ) 地区別人口

全体的に減少傾向にあり、特に本市南部に位置する和田地区・弥富地区の減少が顕著となっています。

(単位：人)

年		地区							
		全市	佐倉	臼井	志津	根郷	和田	弥富	千代田
平成29年	2017年	176,518	28,933	30,809	77,078	25,317	1,913	1,581	10,887
平成30年	2018年	176,059	28,818	30,562	76,913	25,561	1,852	1,540	10,813
平成31年	2019年	175,476	28,648	30,429	76,660	25,688	1,818	1,532	10,701
令和2年	2020年	174,695	28,423	30,317	76,368	25,706	1,772	1,533	10,576
令和3年	2021年	173,216	28,057	30,162	75,867	25,513	1,706	1,509	10,402
令和4年	2022年	171,747	27,901	29,806	75,348	25,212	1,671	1,465	10,344
令和5年	2023年	171,037	27,658	29,624	75,024	25,206	1,640	1,450	10,435
令和6年	2024年	169,930	27,410	29,438	74,700	25,038	1,584	1,421	10,339
人口伸び率 (2017→2024)		-3.7%	-5.3%	-4.4%	-3.1%	-1.1%	-17.2%	-10.1%	-5.0%

出典：住民基本台帳（各年3月31日）

イ 交通

(ア) 道路

広域道路ネットワークを構成する高規格道路と一般広域道路として、それぞれ東関東自動車道と国道51号が通っており、その他に一般国道として国道296号が通っています。本市南部を通る東関東自動車道及び国道51号は、それぞれ東京と成田方面、千葉と成田方面を結んでいます。また、国道296号は、本市北部の志津、ユーカリが丘、臼井、佐倉の各市街地を經由地とし、船橋と酒々井方面を結んでいます。

その他の主要な道路としては、主要地方道佐倉印西線及び千葉臼井印西線が市内を南北に縦断し、市内各市街地間の連絡及び東関東自動車道や国道との連絡機能を果たしています。

(イ) 鉄道

鉄道は、北部に京成本線、中央部にJR総武本線が走っています。

京成本線には志津駅、ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅、大佐倉駅があり、JR総武本線には佐倉駅があります。JR線は本市の東端で北行して成田方面へ向かう成田線と、南行して銚子方面へ向かう総武本線に分かれています。

また、新交通システムである山万ユーカリが丘線については、ユーカリが丘駅を起終点として、ユーカリが丘や宮ノ台地区を周回しています。

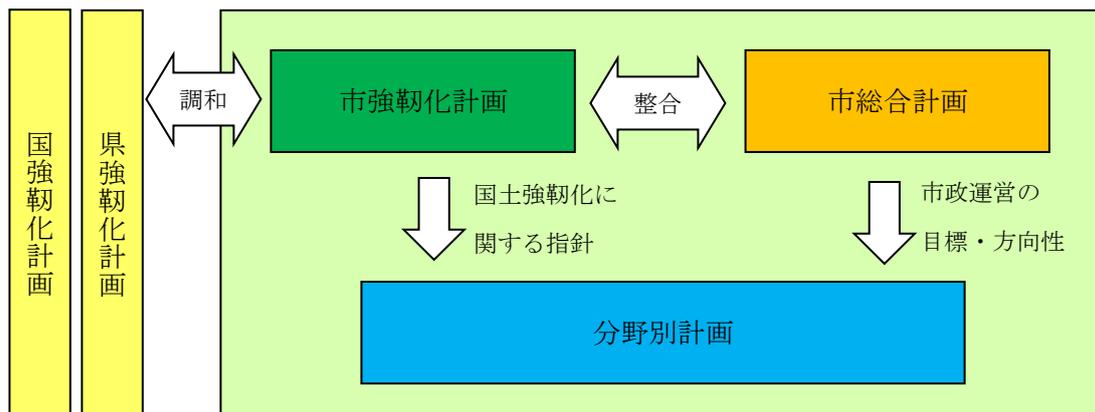
ウ 土地利用現況

本市の土地利用は、南部の台地等を中心とした山林、印旛沼の周辺や鹿島川、手繰川流域等の低地部に集中している農地、西部及び東部地域に分散して形成された住宅地を中心とする市街地によって構成されています。現在の市街地は、古くからの既成市街地に加えて、昭和40年代以降の宅地開発によって京成本線及びJR総武本線の各駅を中心に形成されたものであり、大きく分けて、志津（志津駅、ユーカリが丘駅）、臼井・千代田（京成臼井駅）、佐倉・根郷（京成佐倉駅、JR佐倉駅）の3地区に分かれています。商業地は、志津駅、ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅とJR佐倉駅に分散して形成されています。工業地としては、南東部の佐倉インターチェンジ付

近に佐倉第一、第二、第三、熊野堂工業団地、南部にちばリサーチパークがあります。

3 計画の位置付け

市強靱化計画は、本市の最上位計画である佐倉市総合計画（以下「市総合計画」とする。）との整合性を図りつつ、国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本市の分野別計画における国土強靱化の指針として、基本法第 13 条に基づき策定するものです。また、国強靱化計画と県強靱化計画との調和を図るものとします。



4 佐倉市地域防災計画との比較

佐倉市地域防災計画（以下「市防災計画」という。）は、発災前・発災時・発災後のそれぞれを対象としていますが、市強靱化計画では、発災前（平常時）を主な対象とし、事前防災に必要な対応策を設定するものです。

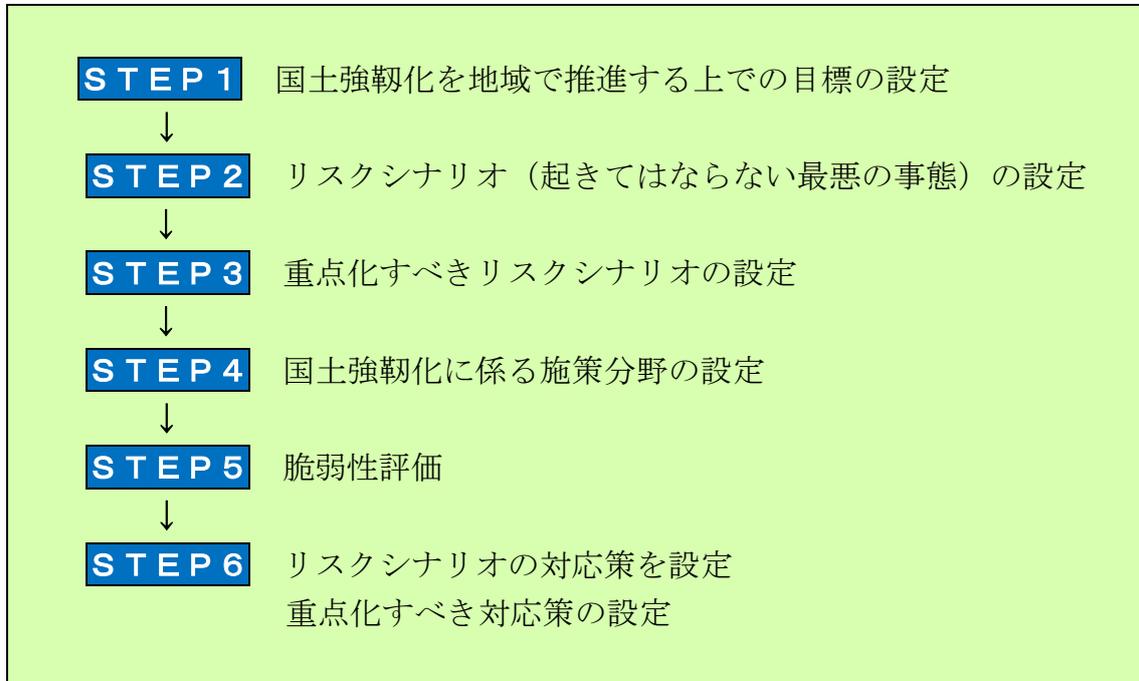
また、市防災計画は、地震や風水害など災害の種類ごとに対応策を設定していますが、市強靱化計画では、地域で想定される自然災害全般を見据え、起きてはならない最悪の事態として様々な角度からリスクシナリオを設定し、既存の取組の脆弱性を評価した上で対応策を設定しています。

さらに、市強靱化計画では、設定したリスクシナリオが回避されなかった場合の影響の大きさ、重要度、緊急度の観点から、重点化するリスクシナリオとそれを回避する対応策を設定しています。

	佐倉市地域防災計画	佐倉市国土強靱化地域計画
主な対象フェーズ	発災前・発災時・発災後	発災前
対応策の設定方法	災害の種類ごとに対応策を設定	<ul style="list-style-type: none"> 地域で想定される自然災害全般を対象にリスクシナリオを設定 既存の取組の脆弱性を評価し対応策を設定
重点化	—	○

5 計画策定に係るプロセス

内閣官房国土強靱化推進室が公表している「国土強靱化地域計画策定・改定ガイドライン」（以下「国ガイドライン」という。）を参考に、次のプロセスにより市強靱化計画を策定します。



第2章 計画の基本的な考え方

1 目標の設定 **STEP 1**

(1) 基本目標

基本法第14条において、県・市強靱化計画は、「国土強靱化基本計画との調和が保たれたものでなければならない」と規定されていることを踏まえ、市強靱化計画の策定に当たっては、国強靱化計画の基本目標を踏襲し、以下の4つを基本目標として設定しています。

- I 人命の保護が最大限図られること
- II 市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- III 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- IV 迅速な復旧復興

(2) 事前に備えるべき目標

上記4つの基本目標を基に、大規模自然災害等を想定し、より具体化した達成すべき目標として、国強靱化計画や県強靱化計画、国ガイドライン等を参考に、次の6つの「事前に備えるべき目標」を設定します。

なお、市強靱化計画を見直す際には、国強靱化計画や県強靱化計画の変更等を加味し、国ガイドラインを参考としつつ、必要に応じて事前に備えるべき目標を再設定するものとします。

- 1 直接死を最大限防ぐ
- 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ
- 3 必要不可欠な行政機能を確保する
- 4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない
- 5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる
- 6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

2 国土強靱化を推進する上で配慮すべき事項

(1) 本市の国土強靱化を推進する上での取組姿勢

- ・ 本市の国土強靱化を損なう原因をあらゆる側面から検証します。
- ・ 短期的な視点によらず、長期的な視点を持った取組を推進します。

(2) 適切な施策の組合せ

- ・ 災害リスクや地域の状況等に応じて、防災施設の整備、施設の耐震化、代替施設の確保などのハード対策と訓練・防災教育などのソフト対策を適切に組み合わせて効果的に施策を推進します。
- ・ 「自助」、「共助」、「公助」を適切に組み合わせ、国、県、市、市民、民間事業者等が

適切に連携及び役割分担して取り組みます。

- ・ 非常時に防災・減災等の効果を発揮するのみならず、平時にも有効に活用することができる対策となるよう工夫します。

(3) 効率的な施策の推進

- ・ 人口の減少等に起因する市民の需要の変化、気候変動等による気象の変化、社会資本の老朽化等を踏まえるとともに、強靱性確保の遅延による被害拡大を見据えた時間管理概念や、財政資金の効率的な使用による施策の持続的な実施に配慮して、施策の重点化を図り、効率的に施策を推進します。
- ・ 限られた資金を最大限に活用するため、民間資金等の積極的な活用を図り、施策を推進します。

(4) 地域特性に応じた施策の推進

- ・ 地域コミュニティ機能の向上とともに、各地域における国土強靱化の担い手が適切に活動できる環境整備を推進します。
- ・ 性別、高齢者、子ども、障害者、外国人等に配慮した施策を推進します。
- ・ 地域特性に応じ、自然との共生、環境との調和及び景観の維持に配慮するとともに、自然環境の有する多様な機能を活用するなどし、自然との共生を図ります。

(5) SDGsの達成への寄与

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する取組が示された、国際社会共通の目標であり、持続可能な世界を実現するための 17 の包括的な目標と、細分化された 169 のターゲットから構成されています。このように、SDGs は国際社会共通の目標であることから、市強靱化計画を推進することによって、国土強靱化のみならず、SDGs の達成にも寄与することを目指します。

第3章 リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の設定と脆弱性評価

1 想定するリスク（大規模自然災害等）

リスクシナリオの設定と脆弱性評価を実施する上で想定する大規模自然災害等としては、地震、風水害、土砂災害等とします。

<直近の災害と主な被害状況>

（地震）

- 平成 23（2011）年 3 月 11 日 東日本大震災（マグニチュード 9.0、最大震度 7）
 - ・ 震度 5 強（佐倉市）
 - ・ 人的被害 重傷者 2 名
 - ・ 建物被害 全壊 38 棟、半壊 240 棟、一部損壊 1,663 棟
 - ・ 停電約 4,000 軒、断水 20,834 戸、ガス供給停止 1,320 戸

（風水害、土砂災害）

- 令和元（2019）年 9 月 9 日 房総半島台風（台風第 15 号）
 - ・ 佐倉市において観測史上最も強い 33.9m/s の最大瞬間風速を記録
 - ・ 停電 約 24,000 軒
 - ・ 倒木 416 件
 - ・ 建物被害 大規模半壊 1 棟、半壊 18 棟、一部損壊 1,404 棟
- 令和元（2019）年 10 月 13 日 東日本台風（台風第 19 号）
 - ・ 507 世帯 1,149 人が避難
- 令和元（2019）年 10 月 25 日の大雨
 - ・ 佐倉市において観測史上最多の 121 mm（3 時間当たり降水量）を記録
期間内降水量（10 月 25 日 00：00～24：00）も観測史上最多の 248 mm を記録
 - ・ 土砂崩れ 120 件
 - ・ 道路冠水 61 件、道路破損等 78 件
 - ・ 建物被害 全壊 2 棟、大規模半壊 1 棟、半壊 9 棟、一部損壊 63 棟
- ※ 令和元（2019）年度 台風第 15 号、19 号、10 月 25 日大雨における主な農業被害
 - ・ 農地等への土砂流入 97 か所、用水機場ポンプ等の浸水被害 40 か所
 - ・ 農業用ハウス等被害 約 380 棟（国の被災農業者向け支援事業対象数）

（雪害）

- 平成 26（2014）年 2 月 8 日、14～15 日 大雪
 - ・ 人的被害 重傷者 8 名、軽傷者 12 名
 - ・ 建物被害 一部損壊 4 棟
 - ・ 農業用ハウス等被害 133 棟（国の被災農業者向け支援事業対象数）

2 リスクシナリオの設定 **STEP 2**

市強靱化計画においては、国強靱化計画や県強靱化計画のリスクシナリオ、国ガイドライン等を参考に、本市の地域特性等を踏まえ、「基本目標」及び「事前に備えるべき目標」に対して、起きてはならない最悪の事態として、次頁のとおり 29 のリスクシナリオを設定しています。

なお、市強靱化計画を見直す際には、国強靱化計画や県強靱化計画の変更等を加味し、国ガイドラインを参考としつつ、必要に応じてリスクシナリオを再設定するものとします。

3 重点化すべきリスクシナリオの設定 **STEP 3**

29 のリスクシナリオについて、人命の保護を最優先として、国強靱化計画や県強靱化計画との調和を踏まえつつ、事態が回避されなかった場合の影響の大きさ、重要度、緊急度の観点から、19 の重点化すべきリスクシナリオを設定しています。

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）		
基本目標	事前に備えるべき目標	リスクシナリオ（着色：重点化に設定したリスクシナリオ）
I 人命の保護が最大限図られること	1 直接死を最大限防ぐ	1-1 大規模地震等に伴う住宅・建物・不特定多数が集まる施設・橋梁等の倒壊や、住宅密集地等における火災の発生などによる死傷者の発生
		1-2 大規模台風や異常気象等に伴う強風・豪雨・洪水による広域かつ長期的な市街地等の浸水や倒木、調整池・防災インフラの損壊又は機能不全などによる死傷者の発生
		1-3 大規模地震・台風等に伴う土砂災害による死傷者の発生
		1-4 暴風・暴風雪・豪雪に伴う交通事故や住宅・農業用施設等の倒壊などによる死傷者の発生
II 市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること	2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ	2-1 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
		2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺
		2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生
		2-4 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止
		2-5 想定を超える多数かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱
		2-6 多数かつ長期にわたる孤立集落・地域等の同時発生
		2-7 大規模な自然災害と感染症との同時発生による、災害対応機能の大幅な低下
III 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化	3 必要不可欠な行政機能を確保する	3-1 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化及び信号機の全面停止等による重大交通事故の多発
		3-2 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下
IV 迅速な復旧復興	4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない	4-1 サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力の低下
		4-2 重要な産業施設の損壊、火災、爆発に伴う有害物質等の大規模拡散・流出
		4-3 金融サービス・郵便等の機能停止により市民生活・商取引に甚大な影響が発生する事
		4-4 食料等の安定供給の停滞に伴う、経済活動への甚大な影響
		4-5 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響
		4-6 農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的機能の低下
5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5-1 テレビ・ラジオ放送の中断やインターネット・SNSの障害や、電力供給停止等により、災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる
		5-2 電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）の長期間・大規模にわたる機能の停止
		5-3 都市ガス・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長期間にわたる機能の停止
		5-4 上下水道施設の長期間にわたる機能停止
		5-5 地域交通ネットワークが分断・機能停止し、物流・人流へ甚大な影響が生じる事態
6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	6-1 道路橋梁等の復旧・復興を担う人材等（専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
		6-2 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
		6-3 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態
		6-4 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失
		6-5 風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による経済等への甚大な影響

4 国土強靱化に係る施策分野の設定 **STEP 4**

国強靱化計画や県強靱化計画、市総合計画の施策分野を参考として、リスクシナリオを回避するために必要な施策分野として、次の4つを設定しています。

- (1) 行政機能
- (2) 保健・医療・福祉・子育て・教育
- (3) 都市・交通・住宅・環境
- (4) 産業・観光・文化

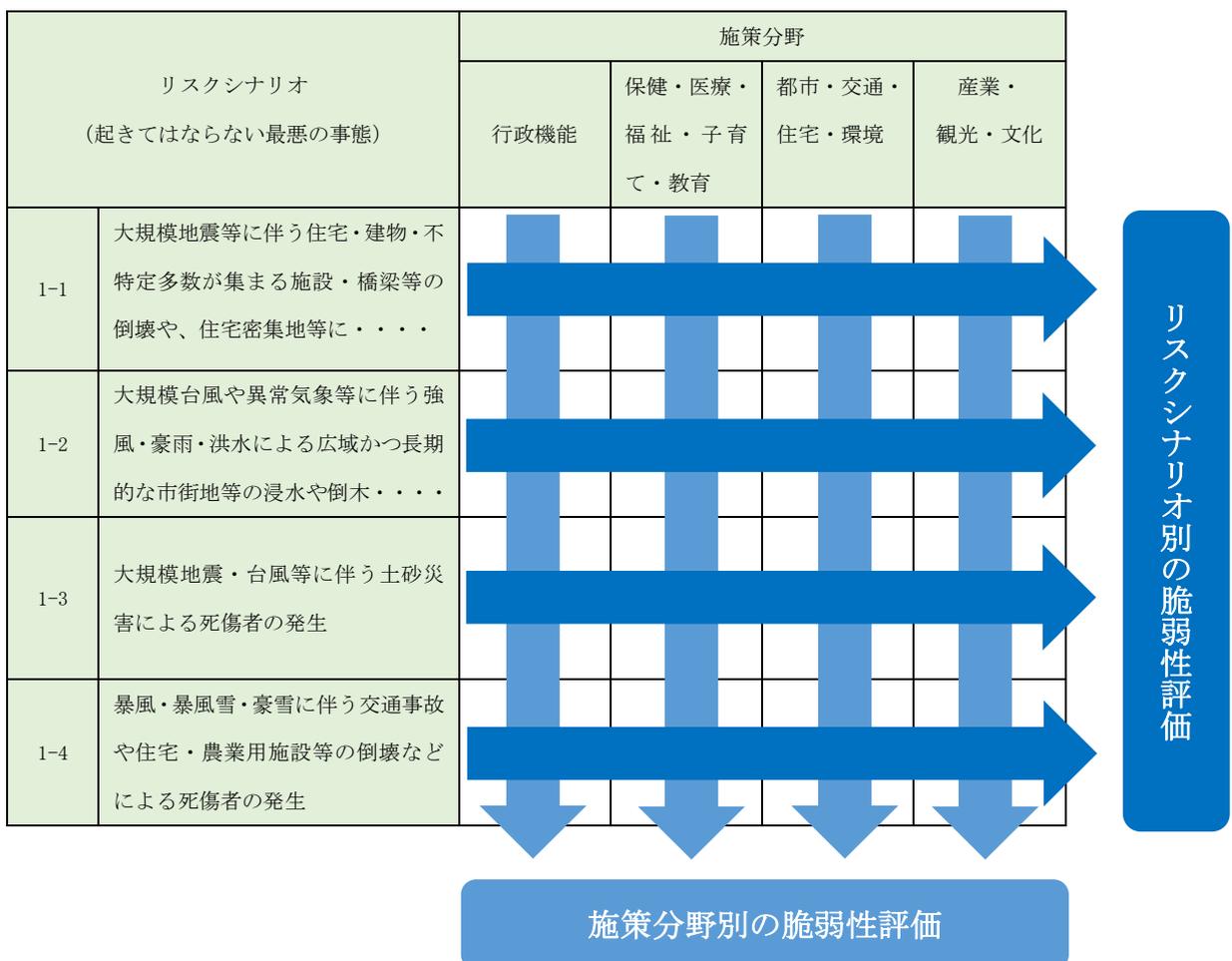
5 脆弱性評価の結果 **STEP 5**

(1) 脆弱性評価の手順

脆弱性評価は次のとおり実施します。

- ・ 縦軸に 29 のリスクシナリオと、横軸に4つの施策分野を配置したマトリクスを作成し、現在取り組んでいる施策を整理。
- ・ その上で対応が不十分でないかなど、縦軸・横軸で脆弱性を分析・評価。

<イメージ>



(2) 結果

脆弱性評価結果については「【別添1】脆弱性評価の結果」のとおりであり、要点としては次のとおりです。

ア 避難所などの情報収集伝達体制の強化が必要

大規模自然災害等に迅速かつ効果的に対応するためには、何よりもまず正確な現状把握と、それを踏まえた市民等への迅速な情報提供が必要であることから、情報収集伝達体制の強化が必要です。

イ 先進的なデジタル技術の導入が必要

激甚化する災害において、実際に災害現場に行って活動する職員や同時多発的に起こる様々な業務に対応する職員の負担を最小化するため、AI技術等を活用したデジタル技術の導入が必要です。

ウ 公共インフラ等の強化及び復旧・復興体制整備が必要

人命と経済社会への被害と影響を最小化するため、幹線道路の整備や緊急時の避難路等の確保のほか、緑地や都市公園の整備、上水道施設や下水道施設の整備等が必要です。

また、これらの公共インフラ等に損壊や機能不全が生じた場合における迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備が必要です。

エ 国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携が必要

大規模自然災害等に迅速かつ効果的に対応するためには、国、県、他自治体、地域住民、民間事業者等との間で十分に連携を図る必要があることから、事前に十分な連携体制を構築することが必要です。

オ ハード・ソフト対策の効果的な組み合わせが必要

大規模自然災害等に対応するには施設整備や耐震化等のハード対策のみでは不十分であり、体制整備や啓発活動等のソフト対策を組み合わせたより効果的な対応が必要です。

第4章 国土強靱化に向けた対応策

1 対応策 STEP 6

現在取り組んでいる施策を引き続き実施するとともに、脆弱性評価結果を踏まえ、リスクシナリオ別及び施策分野別の対応策として「【別添2】脆弱性評価結果を踏まえた対応策」のとおり整理しました。また、重点化設定されたリスクシナリオを回避するための、重点化すべき対応策を設定しました。

なお、対応策を実施するに当たって、国庫補助事業等を活用して実施予定の具体的事業については、別に定めることとしています。

<リスクシナリオ別・施策分野別の「対応策」のまとめ>

対応策	関連するSDGs
<p>情報収集伝達体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用【防災対策所管部署】 ・ 情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討【防災対策所管部署】 ・ 浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討【防災対策、治水対策所管部署】 ・ 災害時外国人サポーター養成【国際化普及啓発所管部署】 ・ 大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供【防災対策、保健指導、広報所管部署等】 等 	   
<p>避難場所の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）【防災対策所管部署】 ・ 飲料水等の備蓄充実、民間等と連携した物資等の調達体制確保【防災対策、母子保健所管部署】 ・ マンホールトイレなどの災害用トイレ整備【防災対策、下水道管理所管部署】 ・ 学校トイレ改修【学校施設管理所管部署】 ・ 避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備【高齢者福祉、障害者福祉、防災対策所管部署等】 等 	     

対応策	関連するSDGs
<p>迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進【防災対策所管部署】 ・ 国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興【各施設所管部署】 ・ 応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勸奨、他自治体や民間等との連携推進）【建築指導、防災対策所管部署】 ・ 被災宅地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勸奨、他自治体との連携推進）【宅地造成所管部署】 ・ インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化【地籍調査所管部署】 ・ 農家への農業共済・収入保険等の加入促進【農政所管部署】 ・ 被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク等着用や消毒薬使用の徹底など）【保健指導、防災対策所管部署】 ・ 文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進【文化財保護所管部署】 ・ 市が所有する文化財の保存整備【文化財保護所管部署】 ・ 個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援【文化財保護所管部署】 ・ 文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化【文化財保護所管部署】 等



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう

対応策		関連するSDGs
国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時受援計画の維持【防災対策所管部署】 ・ 災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進【防災対策、企画所管部署等】 ・ 感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応【保健指導所管部署】等 	
地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織等の育成・結成・活動推進【防災対策所管部署等】 ・ 消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）【消防団所管部署】 ・ 避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有【防災対策、高齢者福祉、障害者福祉、市民協働所管部署】 ・ 防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）【防災対策所管部署】 ・ 主要幹線道路沿いの計画的な森林整備【農政所管部署】 ・ 農作物被害に係る鳥獣被害防止対策【農政所管部署】 等 	   
公共施設・設備の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等【公有財産管理、子育て支援、学校施設管理、社会教育施設管理、文化施設管理、上下水道管理所管部署等】 ・ 公共施設の天井改修【公有財産管理部署等】 ・ 自立・分散型エネルギー設備の導入【公有財産管理、防災対策所管部署】 ・ 公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入【庁用車管理、防災対策所管部署】 等 	   

対応策		関連するSDGs
民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断・耐震補強支援【建築指導所管部署】 家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動【防災対策所管部署】 自立・分散型エネルギー設備の導入推進【温暖化対策所管部署等】 介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援【介護保険、子育て支援所管部署】 農業用ハウス等の強化支援【農政所管部署】等 	   
市街地の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為・建築物の審査及び指導【開発行為審査、建築指導所管部署】 市街地開発事業の推進【市街地開発所管部署】 危険コンクリートブロック塀等の撤去支援【建築指導所管部署】 流域治水への取組（調整池の整備や浸透柵の設置支援など）【治水対策所管部署】等 	  
道路の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路・幹線道路の整備・改修等【道路整備所管部署】 生活道路・法面等の維持・管理等【道路維持所管部署】 街路樹等の道路附属施設の適正管理【道路維持所管部署】 国・県と連携した国県道整備促進【道路整備所管部署】 無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）【道路整備、道路管理所管部署】等 	   
橋梁の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の維持・管理・改修等【橋梁整備、橋梁維持所管部署】 緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化【橋梁整備、橋梁維持所管部署】等 	  

対応策		関連するSDGs
河川・排水施設等の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等【治水対策、下水道管理、農政所管部署】 佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策【下水道管理、治水対策所管部署等】 県と連携した治水対策【治水対策所管部署】等 	    
土砂災害の発生予防	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊対策【治水対策所管部署】 大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施【宅地造成所管部署】等 	  
公園・緑地等の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等【公園所管部署等】 公園・緑地内の樹木の剪定・伐採【公園所管部署】 谷津環境の保全【自然環境保全所管部署】等 	  

2 重要業績評価指標（KPI）

（1）重要業績評価指標の達成状況

市強靱化計画の進捗を把握するため、対応策ごとに重要業績指標を設定する。現在の進捗状況は次のとおりである。

対応策	項目	初期値 ^{*1} (令和元 [2019] 年度)	目標値 ^{*1} (令和6 [2024]年 度)	達成値 (令和6 [2024]年 度)	達成状況 (令和6 [2024]年 度)	担当 部署
情報収集伝達体制の強化	災害情報メール登録者数	20,753人	20,000人	21,117人	○	防災対策所管部署
避難場所の充実	ポータブルバッテリー導入箇所	0箇所	39箇所	39箇所	○	防災対策所管部署
	マンホールトイレ設置箇所	20箇所	37箇所	33箇所	×	防災対策、下水道管理所管部署
迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備構築	電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との災害時応援協定の締結	東京電力「大規模停電時における佐倉市防災行政無線の活用に関する協定」(平成12[2000]年3月)	左記協定の他に電力事業者等との早期電力復旧・確保のための協定等を締結	令和2年7月に東京電力パワーグリッド成田支社と「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」を締結	○	防災対策所管部署
国・県・他自治体、地域住民、民間事業者等との連携推進	災害時受援計画の策定	—	令和3[2021]年度策定	策定済み	○	防災対策所管部署

対応策	項目	初期値 ^{※1} (令和元 [2019] 年度)	目標値 ^{※1} (令和6 [2024]年 度)	達成値 (令和6 [2024]年 度)	達成状況 (令和6 [2024]年 度)	担当 部署
地域の災害 対応力の向 上及び地域 特性を踏ま えた対策	自主防災組 織の団体数	115 団体	120 団体	121 団体	○	防災対 策所管 部署
	災害に対し て備えのあ る市民の割 合	89.9%	92.0%	97.6%	○	防災対 策所管 部署
公共施設・設 備の防災性 向上	特定天井 ^{※2} の耐震化率	17%	100%	50%	×	公有財 産管理 所管部 署
	庁用車にお ける次世代 自動車導入 台数	0 台	16 台	2 台	×	庁用車 管理、防 災対策 所管部 署
	上水道重要 施設までの 水道管の耐 震化率	53%	81%	68%	×	上水道 管理所 管部署
	下水道管点 検・調査率	3%	20%	17%	×	下水道 管理所 管部署
民間施設・設 備の防災性 向上	住宅の耐震 化率	85% (平成27 [2015] 年度)	95%	93%	×	建築指 導所管 部署
	特定建築物 の耐震化率	93% (平成27 [2015] 年度)	95%	95%	○	建築指 導所管 部署

対応策	項目	初期値 ^{※1} (令和元 [2019] 年度)	目標値 ^{※1} (令和6 [2024]年 度)	達成値 (令和6 [2024]年 度)	達成状況 (令和6 [2024]年 度)	担当 部署
市街地の防 災性向上	危険コンク リートブロ ック塀等転 換補助件数	3件/年	12件/年	5件/年	×	建築指 導所管 部署
	雨水浸透ま す・貯水タン クの補助件 数	17件/年	85件 (累計)	55件	×	治水対 策所管 部署
道路の防災 性向上	都市計画道 路・幹線道路 の用地取得 面積	—	47,760 m ² (累計)	17,996 m ²	×	道路整 備所管 部署
	道路の舗装 改修延長	—	L=20km (累計)	L=2.3 km	×	道路整 備、道路 維持所 管部署
橋梁の防災 性向上	緊急輸送道 路や軌道等 上にある橋 梁の落橋防 止措置率	31% (15か所 /48か所)	83% (40か所 /48か所)	41% (20か所 /48か所)	×	橋梁整 備、橋梁 維持所 管部署
	橋梁の点検 率	—	100%	100%	○	橋梁整 備、橋梁 維持所 管部署
河川・排水施 設等の防災 性向上	排水ポンプ 施設(排水ポ ンプ・操作 盤・水位計 等)の更新数	—	38基	17基	×	治水対 策所管 部署

対応策	項目	初期値 ^{※1} (令和元 [2019] 年度)	目標値 ^{※1} (令和6 [2024]年 度)	達成値 (令和6 [2024]年 度)	達成状況 (令和6 [2024]年 度)	担当 部署
土砂災害の 発生予防	大規模盛土 造成地のマ ップ公表や 安定性評価 等の宅地耐 震化の実施	大規模盛 土造成地 マップの 公表	安定性(変 動)予測調 査結果の公 表	0	×	宅地造 成所管 部署
公園・緑地等 の防災性向 上	公園施設の 整備、改修等 実施施設数	20件	100件 (累計)	67件	×	公園管 理所管 部署

※1 市強靱化計画策定時(令和2[2020]年9月策定)に設定した値。

※2 脱落によって重大な危害を生ずるおそれがある、人が日常利用する場所にある天井。

(2) 重要業績評価指標の設定

市強靱化計画の進捗を把握するため、引き続き、対応策ごとに重要業績指標を設定する。

対応策	項目	現状値 (令和6 [2024]年 度)	目標値 (令和10[2028]年 度)	担当部署
情報収集伝達 体制の強化	災害情報メー ル登録者数	21,117人	22,000人	防災対策所管 部署
避難場所の充 実	避難所運営委 員会の設立数	1か所	5か所	防災対策所管 部署
	小中学校トイ レの洋式化率	81.2%	100%	学校施設管理 所管部署
迅速な復旧・ 復興及び二次 被害防止に向 けた体制整備 構築	応急危険度判 定士として登 録されている 職員数	25人	25人	建築指導、防 災対策所管部 署
	被災宅地危険 度判定士とし て登録され ている職員数	53人	70人	宅地造成所管 部署
	文化財の管 理・修理・伝承 活動等への補 助件数	15件/年	60件(累計)	文化財保護所 管部署
国・県・他自治 体、地域住民、 民間事業者等 との連携推進	災害時受援計 画の維持	策定済み	計画の維持 (継続的な見直し・改善 等を含む)	防災対策所管 部署
地域の災害対 応力の向上及 び地域特性を 踏まえた対策	自主防災組織 の団体数	121団体	125団体	防災対策所管 部署
	災害に対して 備えのある市 民の割合	97.6%	97.6%	防災対策所管 部署
	佐倉市鳥獣佐 被害防止計画 に基づく有害 鳥類の捕獲数	202羽	600羽	農政所管部署

対応策	項目	現状値 (令和6 〔2024〕年 度)	目標値 (令和10〔2028〕年度)	担当部署
公共施設・設備の防災性向上	特定天井(※)の耐震化率	50%	100%	公有財産管理所管部署
	庁用車における次世代自動車導入台数	2台	31台	庁用車管理、防災対策所管部署
	上水道重要施設までの水道管の耐震化率	68%	94%	上水道管理所管部署
	下水道管点検・調査率	17%	28%	下水道管理所管部署
民間施設・設備の防災性向上	住宅の耐震化率	93%	95%	建築指導所管部署
	特定建築物の耐震化率	95%	95%	建築指導所管部署
市街地の防災性向上	危険コンクリートブロック塀等転換補助件数	5件/年	10件/年	建築指導所管部署
	雨水浸透ます・貯水タンクの補助件数	9件/年	17件/年	治水対策所管部署
道路の防災性向上	都市計画道路・幹線道路の用地取得面積	17,960 m ²	39,337 m ² (累計)	道路整備所管部署
	道路の舗装改修面積	—	A=36,000 m ² (累計)	道路整備、道路維持所管部署

対応策	項目	現状値 (令和6 〔2024〕年 度)	目標値 (令和10〔2028〕年度)	担当部署
橋梁の防災性 向上	緊急輸送道路 や軌道等上 にある橋梁の落 橋防止措置率	41% (20 か所/48 か所)	43% (21 か所/48 か所)	橋梁整備、橋 梁維持所管部 署
河川・排水施 設等の防災性 向上	排水ポンプ施 設（排水ポン プ・操作盤・水 位計等）の更 新数	—	19 基	治水対策所管 部署
	田んぼダムに 取り組む面積	30ha	100ha	農政所管部署
土砂災害の発 生予防	大規模盛土造 成地のマップ 公表や安定性 評価等の宅地 耐震化の実施	大規模盛土造 成地マップの 公表	安定性（変動）予測調査結 果の公表 13 か所	宅地造成所管 部署
公園・緑地等 の防災性向上	長寿命化計画 に基づく公園 施設の整備、 改修等実施施 設数	—	48 件（累計）	公園管理所管 部署

※ 脱落によって重大な危害を生ずるおそれがある、人が日常利用する場所にある天井。

第5章 計画期間及び進捗管理

1 計画期間

市強靱化計画の計画期間は、令和7（2025）年度から令和10（2028）年度までの4年間とします。

2 進捗管理

市強靱化計画の策定後は取組を着実に推進するため、重要業績評価指標等を活用して進捗管理を実施します。

3 計画の見直し

市強靱化計画の見直しについては、市総合計画の基本計画見直し後に行うことを基本とします。（第5次佐倉市総合計画中期基本計画の計画期間は令和6〔2024〕～令和9〔2027〕年度の4年間。市強靱化計画の計画期間は令和7〔2025〕～令和10〔2028〕年度の4年間。）

ただし、市強靱化計画の計画期間中であっても、社会情勢の変化や施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行うことができるものとします。

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：1 直接死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 1-1】 (重点化) 大規模地震等に伴う住宅・建物・不特定多数が集まる施設・橋梁等の倒壊や、住宅密集地等における火災の発生などによる死傷者の発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 1-1~1-4】 平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災では、最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波により、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害が発生し、東京電力福島第一原子力発電所から放射線物質が漏れ出す深刻な事態となった。本市においては震度5強を記録し、重傷を含む負傷者や、住宅の損壊、液状化による宅地及び道路の損壊など多くの被害が発生し、また、電気、水道といったライフラインの途絶や、ガソリンや食料などの供給停滞などにより、市民生活に深刻な影響を与えた。また、令和6（2024）年1月1日に石川県を中心とした地震が発生し、輪島市や志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州まで広い範囲で揺れを観測した。今後、30年以内には首都直下地震が発生するおそれがあるなど、今後とも大規模地震が発生する可能性が高いと言われている。さらに、近年は気候変動などの影響による台風をはじめとした風水害による被害も大きくなっている。令和元年の大雨の際には、1日の降水量が過去最高を記録し、市民生活に大きな影響を与えた。このようなことから、過去の災害での対応に係る市の検証結果を参考に、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、避難所の更なる充実、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携強化、地域の災害対応力向上、先進技術の導入やその他、公共インフラ施設のハード面強化による直接死を防ぐ対応策に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○	○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○	○			
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○	○			
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○	○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理			○		
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築	○			○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○	○		○	
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○	○			
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等		○			
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化		○	○		
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化			○		
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援				○	
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策				○	

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：1 直接死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 1-2】 (重点化) 大規模台風や異常気象に伴う強風・豪雨・洪水による広域かつ長期的な市街地等の浸水や倒木、調整池・防災インフラの損壊又は機能不全などによる死傷者の発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 1-1~1-4】 平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災では、最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波により、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害が発生し、東京電力福島第一原子力発電所から放射線物質が漏れ出す深刻な事態となった。本市においては震度5強を記録し、重傷を含む負傷者や、住宅の損壊、液状化による宅地及び道路の損壊など多くの被害が発生し、また、電気、水道といったライフラインの途絶や、ガソリンや食料などの供給停滞などにより、市民生活に深刻な影響を与えた。また、令和6（2024）年1月1日に石川県を中心とした地震が発生し、輪島市や志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州まで広い範囲で揺れを観測した。今後、30年以内には首都直下地震が発生するおそれがあるなど、今後とも大規模地震が発生する可能性が高いと言われている。さらに、近年は気候変動などの影響による台風をはじめとした風水害による被害も大きくなっている。令和元年の大雨の際には、1日の降水量が過去最高を記録し、市民生活に大きな影響を与えた。このようなことから、過去の災害での対応に係る市の検証結果を参考に、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、避難所の更なる充実、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携強化、地域の災害対応力向上、先進技術の導入やその他、公共インフラ施設のハード面強化による直接死を防ぐ対応策に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○	○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○	○			
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○	○			
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○	○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用			○		
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築	○			○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持			○		
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○	○		○	
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○	○			
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等		○			
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援				○	
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策				○	

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：1 直接死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 1-3】 (重点化) 大規模地震・台風等に伴う土砂災害による死傷者の発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 1-1~1-4】 平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災では、最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波により、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害が発生し、東京電力福島第一原子力発電所から放射線物質が漏れ出す深刻な事態となった。本市においては震度5強を記録し、重傷を含む負傷者や、住宅の損壊、液状化による宅地及び道路の損壊など多くの被害が発生し、また、電気、水道といったライフラインの途絶や、ガソリンや食料などの供給停滞などにより、市民生活に深刻な影響を与えた。また、令和6（2024）年1月1日に石川県を中心とした地震が発生し、輪島市や志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州まで広い範囲で揺れを観測した。今後、30年以内には首都直下地震が発生するおそれがあるなど、今後とも大規模地震が発生する可能性が高いと言われている。さらに、近年は気候変動などの影響による台風をはじめとした風水害による被害も大きくなっている。令和元年の大雨の際には、1日の降水量が過去最高を記録し、市民生活に大きな影響を与えた。このようなことから、過去の災害での対応に係る市の検証結果を参考に、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、避難所の更なる充実、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携強化、地域の災害対応力向上、先進技術の導入やその他、公共インフラ施設のハード面強化による直接死を防ぐ対応策に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○	○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○	○			
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○	○			
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○	○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用			○		
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築	○			○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持			○		
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○	○		○	
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○	○			
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等		○			
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：1 直接死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 1-4】 (重点化) 暴風・暴風雪・豪雪に伴う交通事故や住宅・農業用施設等の倒壊などによる死傷者の発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 1-1～1-4】 平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災では、最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波により、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害が発生し、東京電力福島第一原子力発電所から放射線物質が漏れ出す深刻な事態となった。本市においては震度5強を記録し、重傷を含む負傷者や、住宅の損壊、液状化による宅地及び道路の損壊など多くの被害が発生し、また、電気、水道といったライフラインの途絶や、ガソリンや食料などの供給停滞などにより、市民生活に深刻な影響を与えた。また、令和6（2024）年1月1日に石川県を中心とした地震が発生し、輪島市や志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州まで広い範囲で揺れを観測した。今後、30年以内には首都直下地震が発生するおそれがあるなど、今後とも大規模地震が発生する可能性が高いと言われている。さらに、近年は気候変動などの影響による台風をはじめとした風水害による被害も大きくなっている。令和元年の大雨の際には、1日の降水量が過去最高を記録し、市民生活に大きな影響を与えた。このようなことから、過去の災害での対応に係る市の検証結果を参考に、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、避難所の更なる充実、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携強化、地域の災害対応力向上、先進技術の導入やその他、公共インフラ施設のハード面強化による直接死を防ぐ対応策に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○	○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○	○			
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○	○			
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○	○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理			○		
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築	○			○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○	○			
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等		○			
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化		○	○		
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化			○		
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援				○	
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策				○	

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-1】 (重点化) 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くなることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-2】 (重点化) 医療施設及び関係者の絶対的 不足・被災、支援ルートの途 絶、救助・救急、医療活動の ためのエネルギー供給の途絶 による医療機能の麻痺	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くかかることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化			○		
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-3】 (重点化) 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くなることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○	○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○	○			
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○	○			
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○	○			
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○	○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用			○		
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）	○				
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定			○		
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定			○		
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○	○			
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○				
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援	○				
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等	○				
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-4】 (重点化) 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くかかることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○				
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）		○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）	○				
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○				
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援	○				
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-5】 想定を超える多数かつ長期の 帰宅困難者の発生、混乱	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くかかることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）		○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）	○				
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○				
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-6】 多数かつ長期にわたる孤立集 落・地域等の同時発生	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くなることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○				
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進	○				
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果 事前に備えるべき目標：2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 2-7】 (重点化) 大規模な自然災害と感染症との同時発生による、災害対応機能の大幅な低下	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 2-1～2-7】 大規模自然災害等が発生した場合は、物資・燃料の長期停止により、迅速な救助・救急・医療活動が損なわれる可能性があり、市内避難所へ物資が供給できないことや帰宅困難者が多数発生する可能性が高い。さらに、避難所における環境が劣悪であると被災者の身体的・精神的負担が多くなることになり、災害関連死の恐れが懸念される。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、現時点では、国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進を図ることや避難所における環境の整備などに取り組み、災害関連死を最大限防ぐ必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）		○			
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定	○				
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）		○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）	○				
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進		○			
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○				
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：3 必要不可欠な行政機能を確保する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 3-1】 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化及び信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 3-1～3-2】 大規模自然災害等が発生した場合は、治安悪化・交通事故多発により、行政機能が損なわれる可能性がある。 具体的には、市内信号機の機能停止などにより警察官の出動が多発することや市の職員、市所有の施設が被災することで、避難所をはじめとした市が行うべき行政事務が機能しなくなる恐れがある。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、警察との連携強化を推進することや市職員に対する防災教育、市所有施設の長寿命化などに取り組み、行政機能を維持できる体制を確保する必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○				
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理			○		
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：3 必要不可欠な行政機能を確保する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 3-2】 (重点化) 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 3-1～3-2】 大規模自然災害等が発生した場合は、治安悪化・交通事故多発により、行政機能が損なわれる可能性がある。 具体的には、市内信号機の機能停止などにより警察官の出動が多発することや市の職員、市所有の施設が被災することで、避難所をはじめとした市が行うべき行政事務が機能しなくなる恐れがある。 このようなことから、既に取り組んでいる施策を踏まえ、警察との連携強化を推進することや市職員に対する防災教育、市所有施設の長寿命化などに取り組み、行政機能を維持できる体制を確保する必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○				
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）		○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）		○			
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）		○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）		○			
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進		○			
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○				
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援	○				
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等		○			
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-1】 (重点化) サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力の低下	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 4-1～4-6】 大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。 具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。 さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。 このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築				○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進				○	
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知				○	
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進				○	
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援				○	
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-2】 重要な産業施設の損壊、火災、爆発に伴う有害物質等の大規模拡散・流出	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					<p>【リスクシナリオ 4-1～4-6】</p> <p>大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。</p> <p>具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。</p> <p>さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。</p> <p>このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。</p>
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備	○				
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-3】 金融サービス・郵便等の機能 停止により市民生活・商取引 に甚大な影響が発生する事態	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					<p>【リスクシナリオ 4-1～4-6】</p> <p>大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。</p> <p>具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。</p> <p>さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。</p> <p>このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。</p>
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-4】 (重点化) 食料等の安定供給の停滞に伴う、経済活動への甚大な影響	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 4-1～4-6】 大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。 具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。 さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。 このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備	○				
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-5】 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					<p>【リスクシナリオ 4-1～4-6】</p> <p>大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。</p> <p>具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。</p> <p>さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。</p> <p>このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。</p>
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持			○		
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知				○	
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進				○	
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 4-6】 (重点化) 農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的機能の低下	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 4-1～4-6】 大規模自然災害等が発生した場合は、経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥る可能性がある。 具体的には、工場の機能停止や道路が寸断されるなどの被害による物流機能が停止するなどの被害が想定される。このような被害が発生した場合、市内で災害時応援協定を結んでいる企業からの応援物資や医薬品などの必要物資の供給ができなくなる恐れがある。 さらに、異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響を及ぼす恐れがある。また、農地・森林、生態系等の被害に伴う国土の荒廃や多面的機能が低下するなどの恐れがある。 このようなことから、平常時から民間企業との情報伝達体制の確保に努めるとともに、発災時の市民サービスや農業をはじめとする生産活動が機能不全に陥らないよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援				○	
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持			○		
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策				○	
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 5-1】 (重点化) テレビ・ラジオ放送の中断やインターネット・SNSの障害や、電力供給停止等により、災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 5-1～5-5】 大規模自然災害等が発生した場合、情報通信サービス・電力等ライフライン・燃料関連施設・交通ネットワーク等の通信インフラや電力・燃料施設に影響が出る恐れがある。 大規模自然災害等が発生した場合には、正確な情報を広く周知する必要があるが、情報通信サービスの混乱や電力等のライフラインが途絶した場合においては、情報の入手が極めて困難になる。また、燃料の供給施設が被害を受けることにより車両への給油などができずに物資の供給へも影響が出る恐れがある。 このようなことから、公共インフラにおけるハード面を整備し、発災時のライフライン等を確保する。また、平常時からライフライン関係企業等との様々な情報伝達手段を確保するよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）	○	○			
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）	○				
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）	○				
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動		○			
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進		○			
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備	○				
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備	○				
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 5-2】 (重点化) 電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）の長期間・大規模にわたる機能の停止	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 5-1～5-5】 大規模自然災害等が発生した場合、情報通信サービス・電力等ライフライン・燃料関連施設・交通ネットワーク等の通信インフラや電力・燃料施設に影響が出る恐れがある。 大規模自然災害等が発生した場合には、正確な情報を広く周知する必要があるが、情報通信サービスの混乱や電力等のライフラインが途絶した場合においては、情報の入手が極めて困難になる。また、燃料の供給施設が被害を受けることにより車両への給油などができずに物資の供給へも影響が出る恐れがある。 このようなことから、公共インフラにおけるハード面を整備し、発災時のライフライン等を確保する。また、平常時からライフライン関係企業等との様々な情報伝達手段を確保するよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備				○	
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 5-3】 (重点化) 都市ガス・石油・LPガス等の 燃料供給施設等の長期間にわたる機能の停止	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 5-1～5-5】 大規模自然災害等が発生した場合、情報通信サービス・電力等ライフライン・燃料関連施設・交通ネットワーク等の通信インフラや電力・燃料施設に影響が出る恐れがある。 大規模自然災害等が発生した場合には、正確な情報を広く周知する必要があるが、情報通信サービスの混乱や電力等のライフラインが途絶した場合においては、情報の入手が極めて困難になる。また、燃料の供給施設が被害を受けることにより車両への給油などができずに物資の供給へも影響が出る恐れがある。 このようなことから、公共インフラにおけるハード面を整備し、発災時のライフライン等を確保する。また、平常時からライフライン関係企業等との様々な情報伝達手段を確保するよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 5-4】 (重点化) 上下水道施設の長期間にわたる機能停止	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 5-1～5-5】 大規模自然災害等が発生した場合、情報通信サービス・電力等ライフライン・燃料関連施設・交通ネットワーク等の通信インフラや電力・燃料施設に影響が出る恐れがある。 大規模自然災害等が発生した場合には、正確な情報を広く周知する必要があるが、情報通信サービスの混乱や電力等のライフラインが途絶した場合においては、情報の入手が極めて困難になる。また、燃料の供給施設が被害を受けることにより車両への給油などができずに物資の供給へも影響が出る恐れがある。 このようなことから、公共インフラにおけるハード面を整備し、発災時のライフライン等を確保する。また、平常時からライフライン関係企業等との様々な情報伝達手段を確保するよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○				
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 5-5】 (重点化) 地域交通ネットワークが分断・機能停止し、物流・人流へ甚大な影響が生じる事態	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 5-1～5-5】 大規模自然災害等が発生した場合、情報通信サービス・電力等ライフライン・燃料関連施設・交通ネットワーク等の通信インフラや電力・燃料施設に影響が出る恐れがある。 大規模自然災害等が発生した場合には、正確な情報を広く周知する必要があるが、情報通信サービスの混乱や電力等のライフラインが途絶した場合においては、情報の入手が極めて困難になる。また、燃料の供給施設が被害を受けることにより車両への給油などができずに物資の供給へも影響が出る恐れがある。 このようなことから、公共インフラにおけるハード面を整備し、発災時のライフライン等を確保する。また、平常時からライフライン関係企業等との様々な情報伝達手段を確保するよう取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）	○				
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）	○				
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定	○	○	○	○	
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）	○	○			
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）			○		
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）			○		
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）	○				
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備			○		
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 6-1】 道路橋梁等の復旧・復興を担う人材等（専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 6-1～6-5】 大規模自然災害等が発生した場合は、地域社会・経済における大規模火災などの二次災害が発生する可能性がある。令和元年に発生した台風や大雨の被害で、本市でも橋梁などに大きな被害が発生した。また、市街地に大きな被害が発生した場合においては、応急仮設住宅の建設に時間を要したり、災害廃棄物の処理が遅れる可能性があり、復興に向けた取組に影響が出る恐れがある。さらに、市内にある文化財なども被害を受けた場合、修復に時間がかかる可能性がある。 このようなことから、地域社会・経済の迅速かつ強靱な復興をするために、道路橋梁などの復興を担うことができる人材の育成や応急仮設住宅の建設地・災害時廃棄物処理に係る事業用地の確保、文化財や環境的資産の保護対策の推進等に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援	○				
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○				
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 6-2】 大量に発生する災害廃棄物の 処理の停滞により復旧・復興 が大幅に遅れる事態	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 6-1～6-5】 大規模自然災害等が発生した場合は、地域社会・経済における大規模火災などの二次災害が発生する可能性がある。令和元年に発生した台風や大雨の被害で、本市でも橋梁などに大きな被害が発生した。また、市街地に大きな被害が発生した場合においては、応急仮設住宅の建設に時間を要したり、災害廃棄物の処理が遅れる可能性があり、復興に向けた取組に影響が出る恐れがある。さらに、市内にある文化財なども被害を受けた場合、修復に時間がかかる可能性がある。 このようなことから、地域社会・経済の迅速かつ強靱な復興をするために、道路橋梁などの復興を担うことができる人材の育成や応急仮設住宅の建設地・災害時廃棄物処理に係る事業用地の確保、文化財や環境的資産の保護対策の推進等に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）	○				
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）			○		
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）			○		
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定			○		
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備			○		
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化			○		
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 6-3】 事業用地の確保、仮設住宅・ 仮店舗・仮事業所等の整備が 進まず復興が大幅に遅れる事 態	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 6-1～6-5】 大規模自然災害等が発生した場合は、地域社会・経済における大規模火災などの二次災害が発生する可能性がある。令和元年に発生した台風や大雨の被害で、本市でも橋梁などに大きな被害が発生した。また、市街地に大きな被害が発生した場合においては、応急仮設住宅の建設に時間を要したり、災害廃棄物の処理が遅れる可能性があり、復興に向けた取組に影響が出る恐れがある。さらに、市内にある文化財なども被害を受けた場合、修復に時間がかかる可能性がある。 このようなことから、地域社会・経済の迅速かつ強靱な復興をするために、道路橋梁などの復興を担うことができる人材の育成や応急仮設住宅の建設地・災害時廃棄物処理に係る事業用地の確保、文化財や環境的資産の保護対策の推進等に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備	○				
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結	○				
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築					
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定			○		
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定			○		
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策					

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 6-4】 (重点化) 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成	○				【リスクシナリオ 6-1～6-5】 大規模自然災害等が発生した場合は、地域社会・経済における大規模火災などの二次災害が発生する可能性がある。令和元年に発生した台風や大雨の被害で、本市でも橋梁などに大きな被害が発生した。また、市街地に大きな被害が発生した場合においては、応急仮設住宅の建設に時間を要したり、災害廃棄物の処理が遅れる可能性があり、復興に向けた取組に影響が出る恐れがある。さらに、市内にある文化財なども被害を受けた場合、修復に時間がかかる可能性がある。 このようなことから、地域社会・経済の迅速かつ強靱な復興をするために、道路橋梁などの復興を担うことができる人材の育成や応急仮設住宅の建設地・災害時廃棄物処理に係る事業用地の確保、文化財や環境的資産の保護対策の推進等に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援	○				
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）					
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）					
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築				○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築					
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持			○		
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施	○				
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知					
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進					
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化	○				
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化			○		
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化			○		
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）			○		
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策				○	

【別添1】脆弱性評価の結果

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

【リスクシナリオ NO】 起きてはならない最悪の事態	施策 NO	施策分類	施策名	行政機能	保健・医療・ 福祉・子育て・教育	都市・交通・ 住宅・環境	産業・観光・ 文化	脆弱性の評価
【リスクシナリオ 6-5】 風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による経済等への甚大な影響	1	【体制整備】ソフト	自主防災体制の育成					【リスクシナリオ 6-1～6-5】 大規模自然災害等が発生した場合は、地域社会・経済における大規模火災などの二次災害が発生する可能性がある。令和元年に発生した台風や大雨の被害で、本市でも橋梁などに大きな被害が発生した。また、市街地に大きな被害が発生した場合においては、応急仮設住宅の建設に時間を要したり、災害廃棄物の処理が遅れる可能性があり、復興に向けた取組に影響が出る恐れがある。さらに、市内にある文化財なども被害を受けた場合、修復に時間がかかる可能性がある。 このようなことから、地域社会・経済の迅速かつ強靱な復興をするために、道路橋梁などの復興を担うことができる人材の育成や応急仮設住宅の建設地・災害時廃棄物処理に係る事業用地の確保、文化財や環境的資産の保護対策の推進等に取り組む必要がある。
	2	【体制整備】ソフト	消防団の活動支援					
	3	【体制整備】ソフト	自治会活動への支援					
	4	【体制整備】ソフト	消防組合、警察、自衛隊等との連携強化による消防・救助体制整備					
	5	【体制整備】ソフト	ボランティア等活動環境の整備（社会福祉協議会等と連携したボランティア受入体制整備、啓発活動等）					
	6	【体制整備】ソフト	食料・物資等の備蓄整備					
	7	【体制整備】ソフト	災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制整備（民間等との連携推進、物資集積拠点選定等）					
	8	【体制整備】ソフト	災害時の廃棄物処理体制整備					
	9	【体制整備】ソフト	帰宅困難者対策（一時滞在候補施設確保、交通事業者等と連携した搬送手段確保等）					
	10	【体制整備】ソフト	業務継続計画（BCP）の策定					
	11	【体制整備】ソフト	多様な関係者との災害時応援協定の締結					
	12	【体制整備】ソフト	情報収集伝達体制の整備（災害等に係る情報周知、感染症等に係る情報周知、避難情報発信、外国人への情報伝達など）	○				
	13	【体制整備】ソフト	佐倉市新型インフルエンザ等対応ガイドライン、佐倉市業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）、新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の策定					
	14	【体制整備】ソフト	災害時の医療活動体制整備（医師会、病院等との連携体制構築）					
	15	【体制整備】ソフト	医薬品の確保体制整備（薬剤師会等との連携体制構築）					
	16	【体制整備】ソフト	高齢者や障害者等の支援体制整備（避難行動要支援者名簿の作成、自治会等との適切な共有）					
	17	【体制整備】ソフト	保育園・学校等における防災体制整備（地域の関係者・組織との連携体制構築、職員の配備・連絡体制構築、感染症対策体制整備等）					
	18	【体制整備】ソフト	各種交通機関との連携体制整備（情報共有体制の構築、物資・避難者などの輸送協力等）					
	19	【体制整備】ソフト	緊急輸送体制の整備（緊急輸送道路選定等）					
	20	【体制整備】ソフト	空き家対策（空き家バンク運営、中古住宅リフォーム支援等）					
	21	【体制整備】ソフト	開発指導（道路幅員・排水施設・公園等の確保、建築パトロール実施等）					
	22	【体制整備】ソフト	放置自転車の撤去・管理					
	23	【体制整備】ソフト	災害時の市営住宅使用					
	24	【体制整備】ソフト	民間企業等との連携体制整備（災害時等の食料・物資・燃料等の流通・確保体制構築、災害時応援協定の締結推進等）				○	
	25	【体制整備】ソフト	商工会議所、観光協会との連携体制構築				○	
	26	【体制整備】ソフト	農協、土地改良区、直売所等との連携体制構築				○	
	27	【体制整備】ソフト	地域による農地・農業用施設等の保全活動支援					
	28	【体制整備】ソフト	健全な水循環の維持					
	29	【体制整備】ソフト	応急仮設住宅建設候補地の選定					
	30	【体制整備】ソフト	災害廃棄物仮置場候補地の選定					
	31	【啓発活動】ソフト	災害等に関する啓発活動（ハザードマップ整備・周知、備蓄意識の啓発、耐震相談会実施、感染症に関する啓発等）					
	32	【啓発活動】ソフト	防災訓練（市民防災訓練、自主防災訓練、非常登庁訓練等）の実施					
	33	【啓発活動】ソフト	保育園・学校・福祉施設等における災害等に関する啓発活動					
	34	【啓発活動】ソフト	防災訓練（自主防災訓練等）の推進					
	35	【啓発活動】ソフト	中小企業等への県及び関係機関と連携した災害補助・融資の周知				○	
	36	【啓発活動】ソフト	農家への県等と連携した災害に関する営農指導、共済・保険の加入推進				○	
	37	【防災環境整備】ハード	防災用資機材・施設の整備					
	38	【防災環境整備】ハード	避難場所の整備					
	39	【防災環境整備】ハード	集会施設の整備支援					
	40	【防災環境整備】ハード	市施設・財産の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	41	【防災環境整備】ハード	保育園・学校等の維持・管理・整備等					
	42	【防災環境整備】ハード	通学路等における危険ブロック塀安全化					
	43	【防災環境整備】ハード	建築物の耐震化					
	44	【防災環境整備】ハード	市街地の整備					
	45	【防災環境整備】ハード	道路や橋梁等の交通施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	46	【防災環境整備】ハード	河川・水路・調整池・排水施設等の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	47	【防災環境整備】ハード	上下水道施設の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	48	【防災環境整備】ハード	公園や緑地の維持・管理・整備・点検・長寿命化					
	49	【防災環境整備】ハード	土砂災害、宅地防災対策（急傾斜地崩壊対策、大規模盛土調査等）					
	50	【防災環境整備】ハード	危険コンクリートブロック塀安全化					
	51	【防災環境整備】ハード	耐候性ハウス等農業用施設整備への支援					
	52	【防災環境整備】ハード	有害鳥獣による農地への被害対策					
	53	【防災環境整備】ハード	災害防止のための森林整備					
	54	【防災環境整備】ハード	文化財保護対策				○	

対応策 ●：重点化すべき対応策	リスクシナリオ 1-1 (重点化) 大規模地震等に伴う住宅・建物・不特定多数が集まる施設・橋梁等の倒壊や、住宅密集地等における火災の発生などによる死傷者の発生	リスクシナリオ 1-2 (重点化) 大規模台風や異常気象等に伴う強風・豪雨・洪水による広域かつ長期的な市街地等の浸水や倒木、調整池・防災インフラの損壊又は機能不全などによる死傷者の発生	リスクシナリオ 1-3 (重点化) 大規模地震・台風等に伴う土砂災害による死傷者の発生	リスクシナリオ 1-4 (重点化) 暴風・暴風雪・豪雪に伴う交通事故や住宅・農業用施設等の倒壊などによる死傷者の発生
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）	◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）			
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用	●	●	●	●
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	●	●	●	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討	●	●	●	●
災害時外国人サポーター養成	●	●	●	●
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供	●	●	●	●
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）	◆避難場所の充実（ソフト・ハード）			
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）	●	●	●	●
飲料水等の備蓄充実	●	●	●	●
民間等と連携した物資等の調達体制確保	●	●	●	●
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備	●	●	●	●
学校トイレ改修	●	●	●	●
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備	●	●	●	●
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）	◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）			
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進		●	●	
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興				
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）				
被災地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）	●	●	●	
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化				
農家への農業共済・収入保険等の加入促進				
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク等着用や消毒薬使用の徹底など）	●	●	●	●
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進				
市が所有する文化財の保存整備	●	●		●
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援	●	●		●
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化				
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）	◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）			
災害時受援計画の維持	●	●	●	●
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	●	●	●	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応				
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）	◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）			
自主防災組織等の育成・結成・活動推進	●	●	●	●
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）	●	●	●	●
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有	●	●	●	●
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	●	●	●	●
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備	●	●	●	●
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策				
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）	◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）			
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等	●	●	●	●
公共施設の天井改修	●	●		
自立・分散型エネルギー設備の導入				
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入				
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）	◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）			
耐震診断・耐震補強支援	●			
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動	●			
自立・分散型エネルギー設備の導入推進				
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援	●	●	●	●
農業用ハウス等の強化支援	●	●	●	●
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）	◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）			
開発行為・建築物の審査及び指導	●	●	●	
市街地開発事業の推進	●	●	●	●
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援	●	●	●	●
流域治水への取組（調整池の整備や浸透枳の設置支援など）		●	●	
◆道路の防災性向上（ハード）	◆道路の防災性向上（ハード）			
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等	●	●	●	●
生活道路・法面等の維持・管理等	●	●	●	●
街路樹等の道路附属施設の適正管理	●	●	●	●
国・県と連携した国道道整備促進	●	●	●	●
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）	●	●	●	●
◆橋梁の防災性向上（ハード）	◆橋梁の防災性向上（ハード）			
橋梁の維持・管理・改修等	●	●	●	●
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化	●	●	●	●
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）			
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等	●	●	●	●
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策		●	●	●
県と連携した治水対策		●	●	●
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）	◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）			
急傾斜地崩壊対策	●	●	●	
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施	●	●	●	
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）			
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等	●	●	●	●
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採	●	●	●	
谷津環境の保全		●	●	

<p>対応策</p> <p>●：重点化すべき対応策</p>	<p>リスクシナリオ 2-1 (重点化)</p> <p>自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足</p>	<p>リスクシナリオ 2-2 (重点化)</p> <p>医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺</p>	<p>リスクシナリオ 2-3 (重点化)</p> <p>劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生</p>	<p>リスクシナリオ 2-4 (重点化)</p> <p>被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止</p>
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）	◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）			
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用		●		
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	●	●	●	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討		●	●	●
災害時外国人サポーター養成		●	●	
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供		●	●	●
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）	◆避難場所の充実（ソフト・ハード）			
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）			●	●
飲料水等の備蓄充実		●	●	●
民間等と連携した物資等の調達体制確保		●	●	●
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備			●	●
学校トイレ改修			●	●
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備			●	
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）	◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）			
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進	●	●	●	●
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興				
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）			●	
被災地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）			●	
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化				
農家への農業共済・収入保険等の加入促進				
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク等着用や消毒薬使用の徹底など）			●	
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進				
市が所有する文化財の保存整備				
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援				
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化				
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）	◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）			
災害時受援計画の維持		●	●	●
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	●	●	●	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応				
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）	◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）			
自主防災組織等の育成・結成・活動推進			●	
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）	●	●		
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有	●	●	●	●
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	●		●	●
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備		●		●
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策				
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）	◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）			
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等			●	●
公共施設の天井改修				
自立・分散型エネルギー設備の導入	●	●	●	●
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入		●	●	●
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）	◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）			
耐震診断・耐震補強支援		●	●	●
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動				
自立・分散型エネルギー設備の導入推進		●	●	●
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援			●	
農業用ハウス等の強化支援				
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）	◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）			
開発行為・建築物の審査及び指導		●		●
市街地開発事業の推進		●		●
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援		●		
流域治水への取組（調整池の整備や浸透枳の設置支援など）				
◆道路の防災性向上（ハード）	◆道路の防災性向上（ハード）			
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等		●		●
生活道路・法面等の維持・管理等		●		●
街路樹等の道路附属施設の適正管理		●		●
国・県と連携した国道道整備促進		●		●
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）		●		●
◆橋梁の防災性向上（ハード）	◆橋梁の防災性向上（ハード）			
橋梁の維持・管理・改修等		●		●
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化		●	●	●
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）			
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等		●		●
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策		●		●
県と連携した治水対策		●		●
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）	◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）			
急傾斜地崩壊対策		●		●
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施		●		●
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）			
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等				
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採				
谷津環境の保全				

<p>対応策</p> <p>●：重点化すべき対応策</p>	<p>リスクシナリオ 2-5 想定を超える多数かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱</p>	<p>リスクシナリオ 2-6 多数かつ長期にわたる孤立集落・地域等の同時発生</p>	<p>リスクシナリオ 2-7 (重点化) 大規模な自然災害と感染症との同時発生による、災害対応機能の大幅な低下</p>
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）		◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）	
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用			●
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	○	○	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討	○	○	●
災害時外国人サポーター養成	○		●
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供	○		●
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）		◆避難場所の充実（ソフト・ハード）	
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）	○	○	●
飲料水等の備蓄充実	○	○	●
民間等と連携した物資等の調達体制確保	○	○	●
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備	○	○	●
学校トイレ改修	○	○	●
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備			
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）		◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）	
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進	○	○	
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興			
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）			
被災地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）			
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化			
農家への農業共済・収入保険等の加入促進			
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク着用や消毒薬使用の徹底など）			●
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進			
市が所有する文化財の保存整備			
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援			
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化			
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）		◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）	
災害時受援計画の維持	○	○	●
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	○	○	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応			●
○地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）		◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）	
自主防災組織等の育成・結成・活動推進		○	
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）		○	
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有	○	○	●
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	○	○	●
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備			
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策			
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）		◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）	
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等	○		●
公共施設の天井改修	○		
自立・分散型エネルギー設備の導入	○		
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入			
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）		◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）	
耐震診断・耐震補強支援		○	
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動			
自立・分散型エネルギー設備の導入推進	○		
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援			
農業用ハウス等の強化支援			
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）		◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）	
開発行為・建築物の審査及び指導	○		
市街地開発事業の推進	○	○	
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援			
流域治水への取組（調整池の整備や浸透枳の設置支援など）			
◆道路の防災性向上（ハード）		◆道路の防災性向上（ハード）	
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等	○	○	
生活道路・法面等の維持・管理等	○	○	
街路樹等の道路附属施設の適正管理		○	
国・県と連携した国道道整備促進	○	○	
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）		○	
◆橋梁の防災性向上（ハード）		◆橋梁の防災性向上（ハード）	
橋梁の維持・管理・改修等	○	○	
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化	○	○	
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）	
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等	○	○	
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策	○	○	
県と連携した治水対策	○	○	
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）		◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）	
急傾斜地崩壊対策		○	
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施		○	
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）	
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等			
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採			
谷津環境の保全			

対応策 ●：重点化すべき対応策	リスクシナリオ 3-1 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化及び信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	リスクシナリオ 3-2 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下 (重点化)
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）		
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用	○	●
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	○	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討	○	●
災害時外国人サポーター養成	○	●
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供	○	●
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）		
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）		●
飲料水等の備蓄充実		●
民間等と連携した物資等の調達体制確保		●
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備		●
学校トイレ改修		●
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備		
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）		
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進	○	●
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興		●
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）		
被災地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）		
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化		
農家への農業共済・収入保険等の加入促進		
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク着用や消毒薬使用の徹底など）		
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進		
市が所有する文化財の保存整備		
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援		
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化		
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）		
災害時受援計画の維持		●
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	○	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応		
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）		
自主防災組織等の育成・結成・活動推進	○	●
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）	○	●
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有		●
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	○	●
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備		●
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策		
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）		
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等		●
公共施設の天井改修		●
自立・分散型エネルギー設備の導入		●
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入		
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）		
耐震診断・耐震補強支援		●
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動		
自立・分散型エネルギー設備の導入推進		
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援		
農業用ハウス等の強化支援		
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）		
開発行為・建築物の審査及び指導		
市街地開発事業の推進		●
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援		
流域治水への取組（調整池の整備や浸透枳の設置支援など）		
◆道路の防災性向上（ハード）		
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等		●
生活道路・法面等の維持・管理等		●
街路樹等の道路附属施設の適正管理		●
国・県と連携した国道道整備促進		●
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）		●
◆橋梁の防災性向上（ハード）		
橋梁の維持・管理・改修等		●
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化		●
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）		
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等		●
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策		●
県と連携した治水対策		●
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）		
急傾斜地崩壊対策		●
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施		●
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）		
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等		●
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採		●
谷津環境の保全		●

【別添2】脆弱性評価結果を踏まえた対応策

事前に備えるべき目標：4 経済活動（サプライチェーンを含む）が機能不全に陥らない

対応策 ●：重点化すべき対応策	リスクシナリオ 4-1 (重点化) サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力の低下	リスクシナリオ 4-2 重要な産業施設の損壊、火災、爆発に伴う有害物質等の大規模拡散・流出	リスクシナリオ 4-3 金融サービス・郵便等の機能停止により市民生活・商取引に甚大な影響が発生する事態	リスクシナリオ 4-4 (重点化) 食料等の安定供給の停滞に伴う、経済活動への甚大な影響	リスクシナリオ 4-5 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響	リスクシナリオ 4-6 (重点化) 農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的機能の低下
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）		◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）				
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用		○				
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	●	○	○	●	○	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討		○				
災害時外国人サポーター養成						
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供		○				
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）		◆避難場所の充実（ソフト・ハード）				
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）						
飲料水等の備蓄充実				●		
民間等と連携した物資等の調達体制確保	●			●		
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備						
学校トイレ改修						
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備						
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）		◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）				
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進						
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興	●	○		●	○	●
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得奨励、他自治体や民間等との連携推進）						
被災宅地危険度判定士確保（市職員の判定士取得奨励、他自治体との連携推進）						
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化						
農家への農業共済・収入保険等の加入促進	●				○	●
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク着用や消毒薬使用の徹底など）						
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進						
市が所有する文化財の保存整備						
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援						
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化						
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）		◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）				
災害時受援計画の維持						
災害時受援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	●	○	○	●	○	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応						
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）		◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）				
自主防災組織等の育成・結成・活動推進						
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）						
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有						
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	●					
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備						●
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策						●
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）		◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）				
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等						
公共施設の天井改修						
自立・分散型エネルギー設備の導入						
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入						
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）		◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）				
耐震診断・耐震補強支援	●	○	○	●		
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動						
自立・分散型エネルギー設備の導入推進	●	○	○	●		
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援						
農業用ハウス等の強化支援	●	○		●	○	●
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）		◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）				
開発行為・建築物の審査及び指導	●	○	○	●	○	●
市街地開発事業の推進	●	○	○	●	○	●
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援						
流域治水への取組（調整池の整備や浸透樹の設置支援など）					○	
◆道路の防災性向上（ハード）		◆道路の防災性向上（ハード）				
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等	●			●		
生活道路・法面等の維持・管理等	●			●		
街路樹等の道路附属施設の適正管理	●			●		
国・県と連携した国道整備促進	●			●		
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）	●			●		
◆橋梁の防災性向上（ハード）		◆橋梁の防災性向上（ハード）				
橋梁の維持・管理・改修等	●			●		
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化	●			●		
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）				
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等	●			●	○	●
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策	●			●	○	●
県と連携した治水対策	●			●	○	●
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）		◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）				
急傾斜地崩壊対策	●					●
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施	●					
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）				
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等					○	●
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採						
谷津環境の保全					○	●

【別添2】脆弱性評価結果を踏まえた対応策 事前に備えるべき目標：5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

対応策 ●：重点化すべき対応策	リスクシナリオ 5-1 (重点化) テレビ・ラジオ放送 の中断やインター ネット・SNSの障害 や、電力供給停止等 により、災害時に活 用する情報サービス や通信インフラが機 能停止し、情報の収 集・伝達ができず、 避難行動や救助・支 援が遅れる	リスクシナリオ 5-2 (重点化) 電力供給ネットワ ーク（発電所、送配 電設備）の長期間・ 大規模にわたる機能 の停止	リスクシナリオ 5-3 (重点化) 都市ガス・石油・LP ガス等の燃料供給施 設等の長期間にわた る機能の停止	リスクシナリオ 5-4 (重点化) 上下水道施設の長期 間にわたる機能停止	リスクシナリオ 5-5 (重点化) 地域交通ネットワー クが分断・機能停止 し、物流・人流へ甚 大な影響が生じる事 態
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）		◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）			
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用	●				●
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	●	●	●	●	●
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討	●				●
災害時外国人サポーター養成	●				
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供	●				●
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）		◆避難場所の充実（ソフト・ハード）			
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）	●				
飲料水等の備蓄充実	●				
民間等と連携した物資等の調達体制確保	●	●	●	●	●
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備	●				
学校トイレ改修	●				
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備					
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）		◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）			
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進	●	●	●	●	●
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興					●
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）					
被災宅地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）					
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化		●	●	●	
農家への農業共済・収入保険等の加入促進					
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク等着用や消毒薬使用の徹底など）					
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進					
市が所有する文化財の保存整備					
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援					
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化					
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）		◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）			
災害時受援計画の維持	●			●	●
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	●	●	●	●	●
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応					
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）		◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）			
自主防災組織等の育成・結成・活動推進	●				
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）	●				
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有	●	●			
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）	●			●	●
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備	●	●			●
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策					
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）		◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）			
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等	●	●	●	●	●
公共施設の天井改修					
自立・分散型エネルギー設備の導入		●	●	●	
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入	●				
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）		◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）			
耐震診断・耐震補強支援			●	●	
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動					
自立・分散型エネルギー設備の導入推進		●	●	●	
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援					
農業用ハウス等の強化支援					
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）		◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）			
開発行為・建築物の審査及び指導					
市街地開発事業の推進				●	●
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援					
流域治水への取組（調整池の整備や浸透柵の設置支援など）				●	●
◆道路の防災性向上（ハード）		◆道路の防災性向上（ハード）			
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等		●	●	●	●
生活道路・法面等の維持・管理等				●	●
街路樹等の道路附属施設の適正管理		●	●	●	●
国・県と連携した国道整備促進		●	●	●	●
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）		●	●	●	●
◆橋梁の防災性向上（ハード）		◆橋梁の防災性向上（ハード）			
橋梁の維持・管理・改修等				●	●
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化				●	●
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）			
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等		●	●	●	●
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策		●	●	●	●
県と連携した治水対策		●	●	●	●
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）		◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）			
急傾斜地崩壊対策					●
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施					●
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）		◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）			
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等					●
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採					
谷津環境の保全					

【別添2】脆弱性評価結果を踏まえた対応策

事前に備えるべき目標：6 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

対応策 ●：重点化すべき対応策	リスクシナリオ 6-1 道路橋梁等の復旧・復興を担う人材等（専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	リスクシナリオ 6-2 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	リスクシナリオ 6-3 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態	リスクシナリオ 6-4 （重点化） 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失	リスクシナリオ 6-5 風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による経済等への甚大な影響
◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）	◆情報収集伝達体制の強化（ソフト）				
基盤的防災情報ネットワークや県防災情報システムの活用					○
情報伝達手段の更なる多様化に向けた検討	○	○			○
浸水エリアの早期発見伝達体制構築の検討					○
災害時外国人サポーター養成					
大規模自然災害及び感染症発生・流行時の多様なツール（ホームページ、メール、ソーシャルメディア、ケーブルテレビ、広報紙等）を活用した迅速かつ正確な情報提供					○
◆避難場所の充実（ソフト・ハード）	◆避難場所の充実（ソフト・ハード）				
自立・分散型エネルギー設備の導入（ポータブルバッテリー導入等）					
飲料水等の備蓄充実					
民間等と連携した物資等の調達体制確保					○
マンホールトイレなどの災害用トイレ整備					
学校トイレ改修					
避難行動要支援者の避難先となり得る、福祉避難所の確保及び整備					
◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）	◆迅速な復旧・復興及び二次被害防止に向けた体制整備（ソフト・ハード）				
電力設備周辺の樹木等の処理や災害時の電力確保などに係る電力事業者等との連携推進		○			
国・県・民間事業者等と連携した道路・橋梁・河川・排水施設・上下水道などのインフラや民間建築物の迅速な復旧・復興					
応急危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体や民間等との連携推進）					
被災宅地危険度判定士確保（市職員の判定士取得勧奨、他自治体との連携推進）					
インフラ等の迅速な復旧・復興に備えた地籍調査による土地境界等の明確化			○		
農家への農業共済・収入保険等の加入促進					○
被災地・避難所等での感染症発生時の拡大防止（避難所以外の一時滞在候補施設等の開放や間仕切り導入などによる可能な限りの密閉・密集・密接の回避、避難者及び職員のマスク等着用や消毒薬使用の徹底など）					
文化財の保存・活用に係る市民、文化財所有者・管理団体、民間団体、関係機関等との連携推進				●	
市が所有する文化財の保存整備				●	
個人・団体が所有する文化財の維持管理・修理に対する支援				●	
文化財や歴史的な景観の活用による観光客の誘致・消費促進や地域コミュニティの強化				●	○
◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）	◆国・県・他自治体・地域住民・民間事業者等との連携推進（ソフト）				
災害時支援計画の維持	○	○	○		
災害時応援協定や包括連携協定の維持及び締結推進	○	○	○	●	○
感染症等の発生・流行・終息の各ステージに応じた国・県等と連携した対応					
◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）	◆地域の災害対応力向上及び地域特性を踏まえた対策（ソフト・ハード）				
自主防災組織等の育成・結成・活動推進				●	
消防団の強化（機庫・機材・装備等の充実）	○				
避難行動要支援者に係る自治会・自主防災組織との情報共有				●	
防災意識向上（ハザードマップの統合・改善・周知、備蓄啓発、地域防災訓練）				●	
主要幹線道路沿いの計画的な森林整備					
農作物被害に係る鳥獣被害防止対策					
◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）	◆公共施設・設備の防災性向上（ハード）				
公共施設（学校、保育所等、学童保育所、上下水道含む）の計画的な維持・管理・整備・改修・耐震化等				●	
公共施設の天井改修				●	
自立・分散型エネルギー設備の導入					
公用車として電気自動車などの次世代自動車の導入					
◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）	◆民間施設・設備（社会福祉施設、児童福祉施設含む）の防災性向上（ソフト・ハード）				
耐震診断・耐震補強支援		○		●	
家具転倒落下防止や感震ブレーカー設置推進に係る啓発活動				●	
自立・分散型エネルギー設備の導入推進					
介護保険施設及び民間保育園等の維持・管理・整備・改修・耐震化等への支援					
農業用ハウス等の強化支援					○
◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）	◆市街地の防災性向上（ソフト・ハード）				
開発行為・建築物の審査及び指導				●	
市街地開発事業の推進		○		●	
危険コンクリートブロック塀等の撤去支援		○			
流域治水への取組（調整池の整備や浸透枳の設置支援など）					
◆道路の防災性向上（ハード）	◆道路の防災性向上（ハード）				
都市計画道路・幹線道路の整備・改修等	○	○	○		
生活道路・法面等の維持・管理等	○	○	○		
街路樹等の道路附属施設の適正管理	○	○	○		
国・県と連携した国道道整備促進	○	○	○		
無電柱化の推進（地域の意向把握に努めながら防災性向上や費用対効果等に配慮）	○	○	○	●	
◆橋梁の防災性向上（ハード）	◆橋梁の防災性向上（ハード）				
橋梁の維持・管理・改修等	○	○	○		
緊急輸送道路や軌道等の上にある橋梁の耐震化	○	○	○		
◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆河川・排水施設等の防災性向上（ソフト・ハード）				
河川・調整池・下水道（雨水）施設等の維持管理・更新・整備・改修及び田んぼダムの取組等		○	○	●	
佐倉市雨水管理総合計画に基づく浸水対策		○		●	
県と連携した治水対策		○		●	
◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）	◆土砂災害の発生予防（ソフト・ハード）				
急傾斜地崩壊対策		○		●	
大規模盛土造成地のマップ公表や安定性評価等の宅地耐震化の実施		○		●	
◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）	◆公園・緑地等の防災性向上（ソフト・ハード）				
公園・緑地等及び関連施設・設備の維持・管理・整備・改修等		○	○	●	
公園・緑地内の樹木の剪定・伐採		○	○	●	
谷津環境の保全				●	